



平成30年 5月25日
東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所

[田瀬ダム]水質保全設備(曝気装置)を6月1日より稼働開始 ～アオコ発生抑制の設備を稼働～

田瀬ダムでは、平成11年頃よりダム湖にて植物プランクトンによる「アオコ」が発生しており、その対策として「散気式曝気装置(水中に空気を送り湖の水を循環する装置)」を平成19年に3台設置し、ダム湖表面水温を下げることによりアオコの発生抑制を図ってきました。その後、平成26年には初めてカビ臭原因となるアオコ(アナヘナ属)が発生し、カビ臭が発生したことを受けて、平成28年に曝気装置を1台増強し、現在は4台体制で稼働しています。

また、更なる発生抑制のため、曝気装置を夏季前の6月から早期に稼働することによりダム湖表面水温上昇の抑制を図っております。

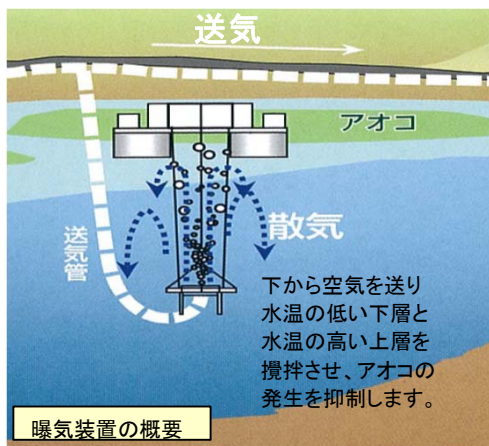
これらの対策により、昨年はアオコ・カビ臭は発生しておらず、本年も引き続き対策を継続するため、6月1日より曝気装置の早期稼働を開始します。

■平成30年度 水質保全設備(曝気装置)の運用計画

1. 運転期間: 平成30年6月1日(金)～10月31日(水)【予定】
2. 運転時間: 4台/24時間連続運転
※アオコ発生状況に応じた運用を実施する予定です。
3. 監視体制他:
田瀬ダムではダムサイトの水質自動監視装置による監視に加え、定期水質調査(1回/月)及びダム湖の巡視(2回/月)を実施し、アオコ発生等の状況を把握し、関係機関への情報提供を行います。
また平成25年度から継続している学識者を加えた「田瀬ダム水質検討会」においてアオコ発生の要因や水質保全・改善に関する検討を行います。



～「アオコ」とは～
植物プランクトン(藍藻類)が異常増殖して水の表面が緑色の粉を吹いたようになる現象で富栄養化の進んだ全国の湖沼で見られます。



《発表記者會:岩手県政記者クラブ》

＜問い合わせ先＞
国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所
〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地
副所長 佐藤 孝 (内線 205)
(代表TEL:019-643-7831)

北上川ダム統合管理事務所 田瀬ダム管理支所
〒028-0123 岩手県花巻市東和町田瀬39-1-3
支所長 杉田 誠司 (内線 6221)
(代表TEL:0198-44-5211)